

オンラインワークショップ

CMSを利用した デジタルアーカイブ の構築

2020年9月11日(金)

13:30～16:30

Zoomによるオンライン開催(筑波大学)

プログラム

1. 開催趣旨説明

宇陀則彦(筑波大学図書館情報メディア系)

2. **Omeka S** を用いた IIIF対応 デジタルアーカイブ構築の実際 中村覚(東京大学史料編纂所)

3. **Drupal** を用いた IIIF対応 デジタルアーカイブ構築の試み 和氣愛仁(筑波大学人文社会系)

4. 質疑応答・意見交換

大量のデジタル資料とデータを

手軽に公開・共有したい

IIIF対応って具体的にどうすれば？

システムを作っても引き継ぎが心配

特定の研究向けに機能をより強化したい

...

こうした要望・疑問に対するヒントを探ります

申込はWebサイトにて 9/8(火)17時〆切

[https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/
lib/information/20200806](https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/information/20200806)

デジタルアーカイブによる
資料情報公開に興味のある方は
どなたでもご参加いただけます



CMS

Content Management System

ウェブブラウザ上でテキストや画像等のコンテンツを配信管理するためのシステムの総称。

IIIF

International Image Interoperability Framework

画像へのアクセスの標準化と相互運用性を確保するための国際的枠組み。

Omeka S

デジタル文化遺産コレクションの管理・公開に特化したオープンソースCMS。複数サイトの一括管理が可能。

Drupal

オープンソースの汎用CMS。拡張性に富んだモジュールシステムにより、様々な種類のウェブサイトを構築できる。

主催: 筑波大学附属図書館研究開発室
共催: 筑波大学人文社会国際比較研究機構(ICR)

問合せ先: 筑波大学附属図書館研究開発室 大久保
voice@tulips.tsukuba.ac.jp